

学校と地域のつながりを広げ、ふるさと教育を推進

～学校運営協議会と地域学校協働活動の両輪で～

大野町教育委員会

大野町では、学校や地域の特色及び、これまでの「学校評議員会」「校区道徳教育推進実行委員会」の取組を基盤として、学校運営協議会を中心とした組織、体制を平成31年に町内小中学校に設置した。また、令和3年度から公民館ごとに地域学校協働本部を設置し、地域と学校が相互にパートナーとしての連携・協働体制も構築したところである。

この仕組みをうまく利用して、学校の抱える課題を保護者や地域の方と共有したり、保護者と地域の意見を踏まえたりして、「あいさつ運動」「地域ボランティア活動」等の道徳推進に係る支援活動、「地域見守り活動」等の子ども達の生活・安全に係る支援活動、学校行事や健康づくりに関わる支援活動、環境整備等、各学校の課題や特色に応じた活動を展開している。

〈学校運営協議会と地域学校協働本部の状況〉

- ・平成30年度に、「大野町学校運営協議会規則」を作成。
- ・平成31年4月1日より施行。町内全小中学校に学校運営協議会を設置。
- ・令和2年度に学校運営協議会の状況を把握。（コロナ禍でなかなか顔を合わせての会議ができなかった。）
- ・令和3年度に地域学校協働本部を設け、統括的地域学校協働活動推進員（町全体の動きの把握と助言）と推進員（活動をコーディネート）を配置。

○連携・協働活動内容

●地域から学校への活動（例）

①学習支援活動

地域講師（野菜作り、柿づくり、米づくり、クラブ活動、地域の歴史、朝活動での読み聞かせボランティア 等）

②環境整備活動

親子奉仕作業（親子清掃作業）、親子リサイクル、草刈りボランティア、花壇づくり

③安全・安心に関わった活動

登下校の見守り、あいさつ活動、「こども110番の家」活動 等

④各学校の行事の参観

各学校のひびきあい集会等の集会活動参観、授業参観、運動会、卒業証書授与式 等

●学校から地域への活動（例）

- ・地区クリーン活動
- ・公民館祭り・地区運動会等の地域行事への参加
- ・地域でのボランティア活動 等

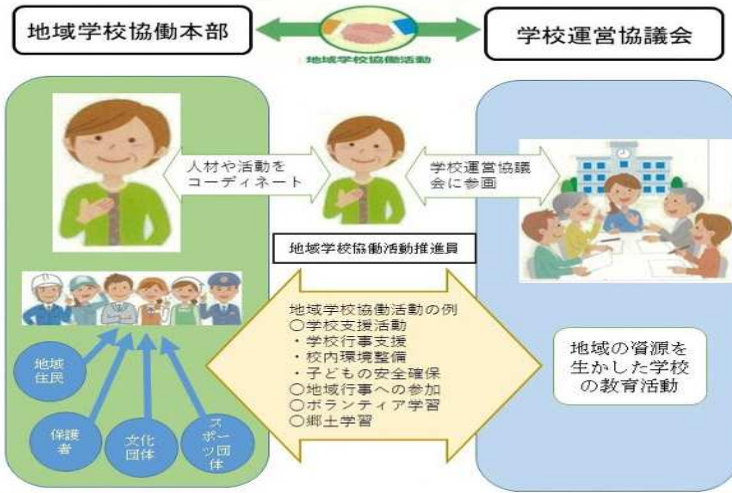
◆学校運営協議会（コミュニティスクール）は地域とともにある学校づくりをめざす！

◆地域学校協働活動は学校を核とした地域づくりをめざす！

〈地域学校協働活動〉

地域学校協働活動について

地域学校協働活動とは、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で「子どもたちの学びや成長を支える」とともに、「学校を核とした地域づくり」に向けて地域総掛かりによる教育活動です。



期待される効果

- 子どもにとって ⇒ 専門的な知識や技能を持った地域住民等とのふれあいを通じて、学びや体験活動が充実するとともに、コミュニケーション能力の向上や地域への理解・関心が深められる。
- 学校にとって ⇒ 地域住民等の理解と協力を得て、地域資源を生かした授業づくりが進められる。また、学校支援ボランティアが組織化されると、教員の異動に関わらず、持続可能な学校支援体制ができる。
- 地域にとって ⇒ 地域住民等が自らの経験や知識を子どもの教育に生かすことで、生きがいや自己実現の機会や場がつかれる。学校を舞台に地域の緩やかなネットワークが形成される。

最終的には大野町の子どもたちが、自分たちが生まれ育った郷土に誇りをもち、ふるさと大野を誇りに思う子どもたちに成長していってくれるよう願っている。

○「コミュニティだより 人来鳥」による、地域と学校をつなげる取組（実践例）

毎月、学校運営協議会だよりで、地域と学校をつなげる取組を行っている学校がある。地域の方からの信頼も大きく、地域の力を生かしながら「地域の中の子ども」を積極的に育てている。



うぐいすの別名：地域の皆さんが地域の学校に集い共に子どもたちを育てていく願いを込めて

【竹中半兵衛生誕祭に向けて手作り甲冑教室】



【狂俳づくりにチャレンジ！】

4年生「揖東用水」

5年生「米作り」

3年生 柿の摘果体験

5年生 田植えにチャレンジ



子どもたちが体感して学ぶ「ふるさと学習」